

2025 年 7 月 29 日

神戸市長 久元 喜造 様
神戸市教育長 福本 靖 様

神戸市立高等学校教職員組合
執行委員長 橘 和雄

2026 年度 要求書

日頃より神戸市教育の充実と発展にご尽力されていることに心より敬意を表します。

2026 年度教育予算の編成において、神戸市立高等学校・幼稚園・特別支援学校等に関する以下の要求を考慮し、手厚い措置が行われるよう強く申し入れます。

記

I. 全体要求

- 勤務の割振変更制度を改善すること。
 - 適用対象の業務範囲を拡大すること。特に、勤務時間外の部活動指導を割振変更の対象とすること。
 - 割振変更登録が行いやすいようにシステムを改修すること。複数の申請が同時に行えるようにすること。
- 子の看護休暇を、子育て支援休暇として再構築すること。子ども 1 人につき 5 日を付与すること。
- 育児短時間勤務制度を取得しやすいよう条件整備を行うこと。取得者のいる職場への負担軽減策を具体的に講じること
- 教職調整額の引き上げに際し、教員特別手当、給料の調整額等の引き下げを行わないこと。新たな職である主務教諭を導入せず、教職員の共働性を崩さないこと。また、幼稚園教諭を対象外としないこと。
- 想定されている学級担任手当については担任だけではなく、すべての教職員がチームとして教育に携わっていることから、月額加算分は学級担任に限定することなく、全ての学校の教職員に按分すること。
- 主幹教諭の業務について、内容の検証を行うこと。
- 人事評価制度について、年代別の相対化を検討すること。前年度の人事評価について、教育職全体結果を個人が特定されない範囲で開示し、問題点・改善点について組合と充分協議すること。
- 奨学給付金の業務を、教職員ではなく、事務室の業務とすること。(就学支援金と端末が統合され、この 2 つの業務をまとめた方が合理的な状況になっている。)
- 同一労働・同一賃金の原則に従い、常勤講師の処遇改善を行うこと。特に、採用時から給料表 2 級適用を行うこと。
- 第三の加配教員については通年雇用とし、当該教員の負担を考慮し年度途中の異動の際には手当を新設し支給すること。
- 先読み加配と同じように、育休代替の教員について、育児休業終了が年度途中の場合には年度末までその学校園に在籍させること。
- 時間講師の時間当たりの固定報酬額を引き上げること。また、時間講師に期末勤勉手当を支給する際の基準に、授業準備や評価等に要する時間を含めること。
- 入試業務の軽減をはかること。入試の願書受付業務を教職員の仕事にしないこと。特殊勤務手当（5 号入試手当）について勤務実態に見合うよう引き上げること。また、手当の対象業務を拡大すること。特に入試問題作成業務に対して手当を支給すること。
- KIIF や学事システムなど ICT 導入や変更について、仕様策定段階から学校園の意見や要望を反映すること。特に、視覚障害教員の意見を十分に聞くこと。
- 部活動外部支援員を高校に配置すること。
- 本人の意向を尊重した人事異動を行うこと。特に、中学校への異動について、本人の意に反した異動は決して行わないこと。
- 教員採用の際に、高校単独での募集にすること。
- 応募認定退職制度を、教育職にも実施すること。
- 通勤手当および旅費の支給要件（特に新神戸トンネルや山麓バイパス）、駐車料金等については、神戸市内の各地に学校が散在していることをふまえ、教職員の勤務実態に見合ったものとなるよう改善すること
- その他、勤務労働条件に関連する事項については、今後も市教委や管理職は誠意をもって神戸市立高等学校教職員組合と協議をすること。

II. 分会要求

【六甲アイランド分会】

- ◎ 学校設備の経年劣化が顕著です。さらなる改善、整備と本校の将来像について具体的な指針の検討を強く求めます。
1. 校内のトイレの改善・悪臭がひどいため、全面的な改修すること。
＊ 特に1号館2F中央、3号館1F～3Fの男女トイレからの改善を望みます・トイレの外に手洗い場の増設・電灯に人感センサーを設置
 2. 調理室の改善、改修を行うこと。水道をシングルの混合水栓に改修すること。
 3. 美術教室・準備室の温水設備の設置、HR教室、特別教室の改善・Wi-Fiの接続不良、プロジェクターの発色不良等の改善すること。
 4. グランドの設備の改善・防球さネットの老朽化による買い替え・グラウンドの凸凹の解消・部室棟（クラブハウス）の改修、建て替えを行うこと。
＊ これまで何度も土を入れ替えているが、雨で流れてしまうので、きりがいい状態

【葺合分会】

1. 葺合高校の特色である国際科の強みをさらに発揮できるよう、英語科のみならず、他教科の教員も含めた適切な人員配置を、引き継ぎ等も考慮に入れながら持続可能なレベルで行うこと。
2. AL ネットワーク等も活用しながら、葺合高校が、今までの特色を消さず、新たな強みを引き出せるように、支援の体制を作ること。
3. 特色づくりを進めるために、教員が疲弊しないように、雑務の処理などの教員の働きを支援する予算や人員配置を行うこと。

【科学技術分会】

1. 校内施設の補修保全工事の実施
校内道路（アスファルト部分）：開校から20年が経過し、道路のアスファルト部分にめくれや劣化が見られるため安全確保の観点から補修工事を実施すること。
テニスコートの改修：現状のコートは水はけが非常に悪く、雨天後の使用に支障をきたしている。オムニコートへ改修することで、耐久性の向上と生徒の運動環境の改善を図ること。
2. 外部委託により清掃業務の実施
外壁・外窓・生徒用トイレ：定期的な清掃を外部業者に委託することで、衛生環境の向上と校内美化を図り、生徒の快適な学習・勤務環境を整備すること。

3. 実習機器更新予算の継続配当
技術教育の充実のため、老朽化した実習機器の更新を継続的に行う予算を配当すること。
4. 校内連絡設備の整備
各学級、各階と職員室との連絡設備（インターホン等）：緊急時や日常的な連絡の円滑化を目的として、インターホン等の連絡設備を設置すること。

【神港橋分会】

1. 多機能トイレの改修を行うこと。（車いすが横につけられない・床マットの設置）
2. GIGA スクールに伴う iPad 導入と ICT 教室に関する諸課題に対して、現場の声を最大限尊重して対応すること。（具体的には、生徒が受ける検定試験があるためキーボードが必須であり、タブレットへの完全移行や ICT 教室の縮小は教育活動に不都合が生じる。）
3. WI-FI 環境の整備、校舎内どこでも使えるようにすること。
4. 部活動顧問の負担を軽減するための外部指導員予算枠の拡大をはかること。
5. 校舎・グラウンドの整備
 - (1) 校舎の安全対策
・校舎のひび割れが年々ひどくなってきたので調査すること。
・避難経路としての不備がある北館西側、3階の出口を内鍵に回収すること。
 - (2) 将来全館土足禁止にするための下駄箱の場所を確保すること。
 - (3) 屋上プールに AED と内線がないので設置を検討すること。

【須磨翔風分会】

1. 校舎・設備等の改修・保全について
 - (1) トイレのウォシュレット機能が故障しているものを放置しない。業者による清掃で、ノズルの汚染を解消・衛生面の改善をすること。
 - (2) アリーナのウォータークーラー設置場所周辺の悪臭問題を解決すると共に、創立20年を前にたびたび起こるトイレの配管の問題等、校内全体の水回りの点検・修繕をすること。
 - (3) 建物の構造上、天井がないため埃が上から落ちてくる。業者による清掃を最低一年に一度は実施すること。
2. 特色をさらに発展させる「人的配置」・「物品・備品」等についても、これまでに以上に継続的に支援すること。職場においては、管理職は長時間・多量の業務を抱え

る教員の声に真摯に耳を傾け、公正公平に対応し、その過重な負担の軽減をはかること。その実現のためには本来の本校・教職員数のあり方に立ち返り、「教頭席2から1」へ減ずること。

3. 教科主任には、入試での選考という合否判断を伴う重責ある業務や教育実習での指導教官等の重要な役割を担う正規の教員を充てる必要があるが、本分会では実現できておらず諸々の課題が生じている。

委員会は、正規職員の構成割合を計画的に高めるよう努め、職場での現状を改善すること。

【神戸工科分会】

1. 生徒用トイレについて、夜間定時制の特に冬季は便座が冷たいので暖房便座、ウォシュレットが必要な生徒が多いのでウォシュレットの導入を早急に行うこと。
2. 配慮が必要な生徒へのきめ細かな対応に迫られており、危険を伴う実習等の安全を保障するため、必要な施設、設備、人員増など、あらゆる条件整備を行うこと。
3. 今後、校務用 PC 更新時において、仕様作成の過程で、現場の意見を反映することや、更新後の取り扱い説明やソフトウェアの講習会を実施すること。
4. 危険な箇所の外窓の業者による清掃と、汚れの落ちない部分の清掃（廊下全般等）を業者に委託し、1年に一度は行える予算をつけること。また、清掃内容は一律とせず、各校のニーズに沿った内容とすること。
5. 老朽化した施設設備の更新に必要な予算措置をお願いしたい。

【摩耶兵庫分会】

1. 職員トイレを改修すること。
2. 緊急時の非常階段を検討していただきたい。
3. 非常ベルの運用について改善をお願いしたい。（全館一斉に鳴らない仕組みになっている）
4. 3階の更衣室と職員室の増設部分にエアコン設置すること。
5. GIGA 端末(パソコン・タブレット)の購入が難しい生徒への貸出端末を充実させ、一人一台環境を構築すること。現状は全く貸出端末の数が足りないため、ICT 活用授業へのハードルが高い。

【楠分会】

1. 特別な支援や関係機関との連携を要する生徒が多数存在し、現状の教育水準が維持可能な配慮をお願いしたい。
2. HR 教室（2年～4年）の扉の新調。（安全配慮の観点等より）
3. スクールカウンセラーの担当時間について配慮をお願いしたい。
4. 職員室の異臭対策。及び職員トイレの異臭対策をお願いしたい。
5. 男女別職員用更衣室の改善をお願いしたい。
6. 教科準備室（理科・被服）への空調設備の設置をすること。
7. 自校通級制度の環境整備を行うこと。

III. 幼稚園部要求

1. 3年保育を市立幼稚園全園で実施すること。
2. 入園希望者には、抽選を行わず全員を入園させること。
3. 3歳児学級については、現在の担任1名と会計年度任用職員1名では問題が多いため、改善すること。
4. 園区の見直しによって生じる新たな問題について、その解決に向けて、現場の意見を十分尊重すること。
5. 公共交通機関を利用して通園する場合の金銭補助や、自家用車で送迎する際の駐車場の確保等、各園の事情に応じた通園支援を充実させること。
6. 市立幼稚園の今後の方針に記されているスーパーバイズ・バックアップの機能・役割を明確化し、具体的な案を掲げること。実現させるために、十分な人員・予算を確保すること。
7. 年度途中の欠員に対する補充が困難な状況が続くため、新規正規採用の増員を継続すること。常勤講師・会計年度任用職員について、欠員で現場の負担が増すことのないように人材確保に十分配慮すること。
8. 特別支援対応で現場の負担が増すことのないように人材確保に十分配慮すること。現場の要望をよく聞き、年度途中であっても人員配置の調整を行うこと。
9. 幼稚園の事務を改善すること。
 - ア) 学校経営支援課の幼稚園事務支援スタッフについて配慮すること。事務についての電話問い合わせ・メール相談対応ができる職員を、学校経営支援課内か現場に配置すること（午後の時間帯、曜日限定可、年度当初限定可）。あるいは巡回式の事務支援者を定期的に各園に派遣すること。
 - イ) 次の事務は市教委で直接行うようにすること。
入園事務(途中入園の場合も)、退職関係、産育休手続き、パート・再任用管理員等の任用関係(勤務管理, 社会保険等含む)
 - ウ) 事務手続きに関する大きな変更がある場合には、事前に教員を対象に説明会を行い、混乱のないようにすること。事務マニュアルを変更前に提供すること。
10. パート、再任用管理員、預かり保育指導員等の勤務管理をシステム化すること。
11. 「預かり保育」の指導員は、市教委で確保すること。預かり保育関連業務が幼稚園教員の過重負担にならないようにすること。申し込みや金銭処理・領収書配布をシステム化するなど、事務の改善や簡略化を図ること。地域で集約するなど、小規模園の負担を軽減する工夫について検討すること。
12. 育児短時間勤務について、希望する教員が気兼ねなく利用できるように配慮すること。当該教員が担任を受け持つなどの場合に、保育の引き継ぎや事務等の負担を考慮して、常勤講師を配置するか、裏付けのパートの勤務時間を多めに確保すること。
13. 体育科教諭に認められている産休前1か月プラス1か月の補助教員配置制度を、幼稚園教員にも適用すること。
14. 主任・教諭・再任用教諭の人事異動については、本人の意向を十分に尊重すること。
15. 通級指導教室について、他校種との連携や専門性の充実のために拠点校通級を維持したうえで、自園通級を段階的に設置していくこと。また、担当者の専門性を高めるために、担当者のニーズに合った研修を行うこと。
16. 園長の360度評価について、少人数園等で評価者の匿名性が担保されておらず問題があるため、廃止すること。
17. 園長、主任の待遇改善を行うこと。